科目番号	52034	分類	共通科目	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	地域母子保健学演習 （Practice for Maternal and Child Health in the Community）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○戸津有美子　他３名	区分	必修	単位	1	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。妊産婦や乳幼児に対するアセスメントを通して、家庭訪問や保健指導、健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目標】 1．妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援が実践できる。 2．産前・産後訪問、新生児訪問など家庭訪問と実際の保健指導の内容、健康相談の計画を立案・作成できる。 3．訪問活動の事例を通して実践を行い、評価できる。 4．地域母子支援に必要な、地区診断を行い、支援計画を立案し評価できる。	○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
		4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	科目のガイダンス　地域母子保健学演習の概要	戸津 他３名
第2回	地域母子保健の現状と課題の分析 母子保健統計資料（国・都道府県・区市町村）	
第３・４・５・６回	地域母子保健の現状と課題の分析　（GW）	
第７回	地域母子保健の現状と課題の分析　発表	
第８回	地域母子保健における地域ニーズの把握と施策化	
第９回	地域母子保健における支援の実際（妊娠期、新生児期等）	
第 10・11・12・13 回	地域母子保健を支える訪問事業　新生児訪問計画立案と指導案の作成（GW）	
第 14 回	新生児訪問の実践・演習（GW）	
第 15 回	地域診断による分析と新生児訪問計画のまとめ	

事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。レポートを課す。 事前事後学習には 30～60 分程度で出来る課題を課す。
評価の方法	課題 70%　プレゼンテーション・ディスカッション 30%
参考図書・資料等	◎助産学講座９ 地域母子保健・国際母子保健　我部山キヨ子他　第６版　医学書院 ・母子保健の主なる統計　令和６年度版 ・助産師のための産後ケアガイド 2023　日本助産師会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。